

39. 高知県



3 9 高知県

A. 医療提供体制の現状

高知県の特徴は、(1) 日本一多い病床、療養病床、回復期病床、精神病床も多い、(2) 日本屈指の高知への集中、周辺部の医療過疎である。

(1) 日本一多い病床、療養病床、回復期病床、精神病床も多い

全県を通しての人口当たりの病床数の偏差値が 70、一般病床が 64、療養病床 69、精神病床 61、総医師数が 56 (病院勤務医数 60、診療所医師 46)、総看護師数が 72、全身麻酔数 57 と、全てが全国平均を大きく上回っている。特に病床数の多さは突出しており、一般病床、療養病床、回復期病床、精神病床の全てが多いことが、高知県の特徴である。

(2) 日本屈指の高知への集中、周辺部の医療過疎

医学部のある中央に高知県の 73%の人口が集中するが、医師数の 81%、総看護師数の 80%、全身麻酔数の 92%が集中している。高知県は日本で一番の一極集中型の都道府県であり、高知の医療提供の過剰感は非常に強い。

他の地域の医師数の偏差値は、安芸 44、高幡 42、幡多 47 は、全国平均を下回り、全身麻酔数も非常に少なく、高知への依存度が高い。幡多には県立病院があり、病院勤務医 51、看護師数 63、全身麻酔数 43 と健闘している。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(安芸)

高知県の東部に広がる安芸は、人口約 5 万人、面積 1,129/km²、人口密度は約 50 人/km²の過疎型二次医療圏である。1,000 km²を超える医療圏であり、人口密度も 100 人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。安芸には、県立安芸病院 (258 床) があるが、急性期医療に関しては、強く中央医療圏 (高知) に依存している。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は 63 (一般病床 52、療養病床 50、精神病床 74)、総医師数が 44 (病院勤務医数 44、診療所医師 44)、総看護師数 54、全身麻酔数 30 と、病床数 (特に精神病床) と看護師数は多いが、病院勤務医数、全身麻酔数が少ない過疎型の医療提供パターンを示している。

2010→40 年の医療の総需要が 34%減、0-64 歳が 53%減と極めて減少幅が大きく、75 歳以上が 16%減、後期高齢者も減少傾向にある。今後、現在の規模の病床の維持は極めて難し

いので、地域の病床削減と高知との連携強化を中心とした将来計画を考える必要があるだろう。

(中央)

中央（高知）は、人口約 56 万人、面積 3,009/km²、人口密度は約 180 人/km²の地方都市型二次医療圏である。高知大学（736 床、全麻 3,000 件以上、救命救急）があり、年間全身麻酔 3,000 件を超える高知医療センター（救命救急、DPCⅡ群）、年間 2,000 件以上の高知赤十字病院（救命救急、DPCⅡ群）があり、高知県全域から多くの患者が集まってくる。また年間 1,000 件以上の近森病院、国立病院機構高知病院があり、急性期病院の激戦地である。

人口当たりの総病床数の偏差値は 74（一般病床 70、療養病床 73、精神病床 61）、総医師数が 60（病院勤務医数 65、診療所医師 48）、総看護師数 77、全身麻酔数 64 と高い医療資源レベルである。更に療養病床 73、回復期 74、精神病床 61 も高い。この医療圏の人口当たりの病床の集積は日本一であり、現在でも過剰感が非常に強い。総高齢者ベッド数も偏差値 54 である。

2010→40 年の高知県全体の総医療需要が 12%減、0-64 歳の医療需要が 42%減、中央の総医療需要が 5%減、0-64 歳の医療需要が 38%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後更に強まっていくことが予想される。医師養成数の適正化と中央で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。同時に、75 歳以上医療需要の 26%増加が予想されるが、後期高齢者に対応する病棟もすでに過剰状態であるので、状況をモニタリングしながら病床数の調整することが必要になるだろう。

(高幡)

高知の西に位置する高幡は、人口約 6 万人、面積 1,405/km²、人口密度は約 40 人/km²の過疎型二次医療圏である。1,000 km²を超える医療圏であり、人口密度も 100 人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。高幡には、須崎くろしお病院やくぼかわ病院があるが、強く中央医療圏に依存している。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は 54（一般病床 41、療養病床 65、精神病床 54）、総医師数が 42（病院勤務医数 43、診療所医師 42）、総看護師数 51、全身麻酔数 34 と病床数（特に療養病床）と看護師数は多いが、病院勤務医数、全身麻酔数が少ない過疎型の医療提供パターンを示している。

2010→40 年の医療の総需要が 29%減、0-64 歳が 52%減と極めて減少幅が大きく、75 歳以上が 10%減と、後期高齢者も減少傾向にある。今後、現在の規模の病床の維持は極めて難しいので、地域の病床削減と高知との連携強化を中心とした将来計画を考える必要があるだろう。

(幡多)

高知県の西部に広がる幡多は、人口約 9 万人、面積 1,562/km²、人口密度は約 60 人/km²の過疎型二次医療圏である。1,000 km²を超える医療圏であり、人口密度も 100 人/km²以下であり、

拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。幡多には、全身麻酔年間 1,000 件を超える県立幡多けんみん病院がある。

この地域の人口当たりの総病床数の偏差値は 59(一般病床 54、療養病床 62、精神病床 55)、総医師数が 47(病院勤務医数 51、診療所医師 40)、総看護師数 63、全身麻酔数 43 と病床数(特に療養病床)と看護師数は多いが、医師数、全身麻酔数が少ない過疎型の医療提供パターンを示しており、ベッドの過剰感が強い。

2010→40 年の医療の総需要が 23%減、0-64 歳が 54%減、75 歳以上が 1%増であり、将来に向けて、地域の医療機能を保ちながらの、一般病床の削減が必要であろう。

表 39-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
高知県	764,456	45位	7,105	18位	107.6		29%	-30%	14%
安芸	53,576	7%	1,129	16%	47.5	過疎型	36%	-45%	-16%
中央	555,072	73%	3,009	42%	184.5	地方都市型	26%	-25%	26%
高幡	61,406	8%	1,405	20%	43.7	過疎型	36%	-42%	-10%
幡多	94,402	12%	1,562	22%	60.4	過疎型	33%	-41%	1%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 39-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
高知県	137	1.6%	17.9	78	580	0.6%	76	49
安芸	8	6%	14.9	71	41	7%	77	49
中央	101	74%	18.2	79	431	74%	78	50
高幡	8	6%	13.0	66	43	7%	70	46
幡多	20	15%	21.2	86	65	11%	69	45
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 39-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
高知県	16,485	1.0%	2,156	70	1,453	1.2%	190	59
安芸	983	6%	1,835	63	86	6%	161	56
中央	13,066	79%	2,354	74	1,161	80%	209	60
高幡	865	5%	1,409	54	51	4%	83	49
幡多	1,571	10%	1,664	59	155	11%	164	56
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 39-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所 施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
高知県	580	0.6%	76	49	485	0.5%	63	47	95	1.0%	12.4	57
安芸	41	7%	77	49	35	7%	65	48	6	6%	11.2	55
中央	431	74%	78	50	357	74%	64	47	74	78%	13.3	58
高幡	43	7%	70	46	40	8%	65	47	3	3%	4.9	46
幡多	65	11%	69	45	53	11%	56	43	12	13%	12.7	57
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 39-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
高知県	7,790	0.9%	1,019	64	4,795	1.5%	627	69	3,719	1.1%	486	61
安芸	404	5%	754	52	140	3%	261	50	411	11%	767	74
中央	6,335	81%	1,141	70	3,866	81%	696	73	2,743	74%	494	61
高幡	312	4%	508	41	335	7%	546	65	218	6%	355	54
幡多	739	9%	783	54	454	9%	481	62	347	9%	368	55
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 39-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急センター	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	がん診療拠点病院	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
高知県	2	1.0%	2.6	55	3	0.8%	3.9	53	20,340	0.8%	2,661	57
安芸	0	0%	0	43	0	0%	0	42	72	0%	134	30
中央	2	100%	3.6	59	3	100%	5.4	57	18,672	92%	3,364	64
高幡	0	0%	0	43	0	0%	0	42	300	1%	489	34
幡多	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,296	6%	1,373	43
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 39-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
高知県	2,316	0.7%	303	56	1,676	0.8%	219	60	640	0.5%	84	46
安芸	105	5%	196	44	64	4%	120	44	41	6%	76	44
中央	1,887	81%	340	60	1,391	83%	251	65	496	78%	89	48
高幡	113	5%	184	42	70	4%	113	43	43	7%	71	42
幡多	211	9%	224	47	152	9%	161	51	60	9%	63	40
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 39-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
高知県	10,672	1.0%	1,396	72	9,248	1.1%	1,210	74	1,423	0.8%	186	56
安芸	496	5%	926	54	414	4%	773	55	82	6%	153	52
中央	8,566	80%	1,543	77	7,415	80%	1,336	79	1,151	81%	207	59
高幡	521	5%	848	51	444	5%	723	52	77	5%	125	48
幡多	1,089	10%	1,154	63	975	11%	1,033	66	114	8%	121	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

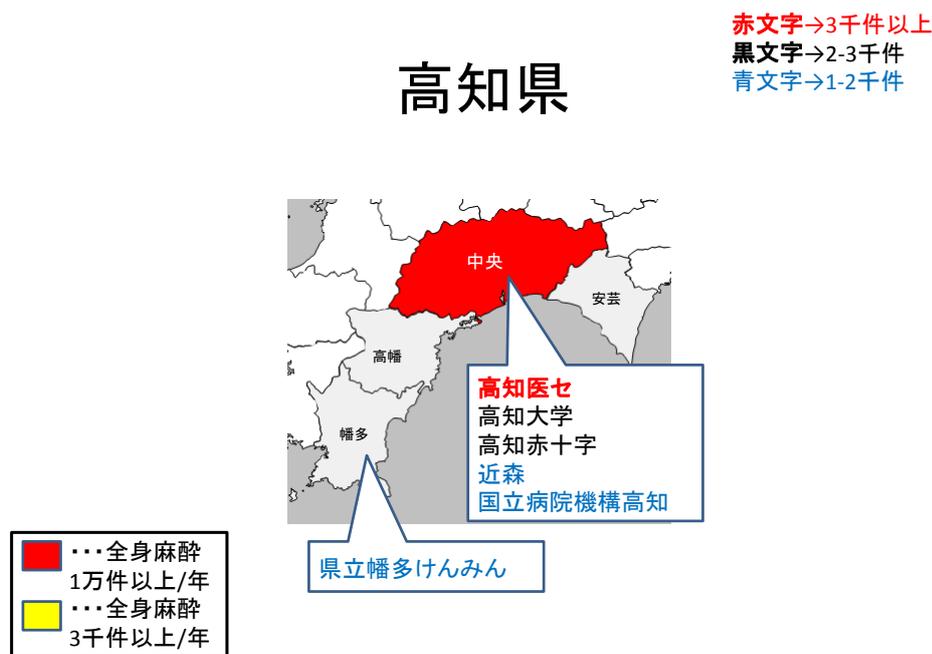
表 39-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
高知県	1,586	1.7%	207	82	1,073	1.7%	140	71
安芸	86	5%	160	71	42	4%	78	57
中央	1,286	81%	232	88	863	80%	155	74
高幡	88	6%	143	67	86	8%	140	71
幡多	126	8%	134	64	82	8%	87	58
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病棟連絡協議会			

表 39-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
高知県	46	0.3%	3.8	39	7	0.9%	0.6	50	46	0.7%	3.8	43
安芸	6	13%	5.7	42	1	14%	1.0	56	3	7%	2.9	37
中央	30	65%	3.8	39	4	57%	0.5	49	32	70%	4.0	45
高幡	3	7%	2.3	36	1	14%	0.8	53	2	4%	1.5	28
幡多	7	15%	3.9	39	1	14%	0.6	50	9	20%	5.1	51
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			

図 39-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成23年医療施設調査(10月1か月分)の数値に12を掛けたもの)

表 39-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者 ベッド数	全国			介護保険 施設 ベッド数	全国			総高齢者 住宅数	全国		
		シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
高知県	15,075	0.9%	125	52	8,309	0.9%	69	52	6,766	0.9%	56	51
安芸	1,105	7%	105	43	675	8%	64	48	430	6%	41	44
中央	10,206	68%	129	54	5,347	64%	68	51	4,859	72%	61	54
高幡	1,472	10%	113	47	866	10%	66	50	606	9%	46	46
幡多	2,292	15%	129	54	1,421	17%	80	61	871	13%	49	48
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数 の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老 人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数 の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢 者住宅、その他の合計			

表 39-12 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健 施設(老健) 収容数	全国			特別養護 老人ホーム (特養) 収容数	全国			介護療養 病床数	全国		
		シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
高知県	2,164	0.6%	18	38	3,671	0.7%	31	45	2,474	2.9%	20.6	77
安芸	220	10%	21	43	410	11%	39	53	45	2%	4.3	47
中央	1,338	62%	17	36	2,105	57%	27	41	1,904	77%	24.1	84
高幡	192	9%	15	32	538	15%	41	56	136	5%	10.4	58
幡多	414	19%	23	47	618	17%	35	49	389	16%	21.9	80
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 39-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国			グループ ホーム	全国			高齢者 住宅	全国		
		シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	313,116		22.3	(16.7)	171,021		12.2	(5.9)	88,421		6.3	(4.0)
高知県	1,931	0.6%	16.0	46	2,216	1.3%	18.4	61	512	0.6%	4.3	45
安芸	52	3%	4.9	40	162	7%	15.4	55	18	4%	1.7	38
中央	1,536	80%	19.4	48	1,550	70%	19.6	63	460	90%	5.8	49
高幡	91	5%	7.0	41	207	9%	15.8	56	0	0%	0	34
幡多	252	13%	14.2	45	297	13%	16.7	58	34	7%	1.9	39
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 39-14 ～64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	～64歳人口			2010年を100とした ～64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした 75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
高知県	446,980	382,310	316,939	82	70	58	133,554	151,572	137,767	111	126	114
安芸	25,382	20,167	16,159	74	58	47	10,619	10,901	8,832	101	104	84
中央	344,826	301,268	252,855	84	74	62	91,270	106,204	99,174	116	134	126
高幡	29,447	23,476	18,807	75	60	48	13,178	13,793	11,748	101	106	90
幡多	47,325	37,399	29,118	75	59	46	18,487	20,674	18,013	104	116	101
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 39-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	総介護需要 増減率
全国		10%	-30%	58%	50%
高知県		-12%	-42%	14%	11%
安芸	過疎型	-34%	-53%	-16%	-19%
中央	地方都市型	-5%	-38%	26%	21%
高幡	過疎型	-29%	-52%	-10%	-13%
幡多	過疎型	-23%	-54%	1%	-2%
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省 平成22年度 国民医療費 厚生労働省				

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 39-2 高知県 2010 年→40 年医療介護需要の増減予測

